

放射線技術科支部会報

Vol. 7 1995年7月15日発行

発行人 末森慎治（1期生）
編集 黒住 晃（4期生）
編集発行 川崎医療短期大学同窓会
（松丘会）放射線技術科支部
〒701-01 倉敷市松島316
☎086-462-1111（3055）
印刷 西日本法規出版㈱

平成6年度第1回代表者会開催報告

日時 平成7年2月4日（土）午後3時～午後4時30分

場所 川崎医療短期大学300号教室

出席者	支部長	末 森 慎 治	監査	大 元 浩 子
	副支部長	荒 尾 信 一	運営委員長	黒 住 晃
	会計	天 野 貴 司	運営委員	水 上 洋
代表者	2期生	三 村 浩 朗	9期生	川 崎 晋 禎
	3期生	今 井 章 人	10期生	吉 田 耕 治
	4期生	（代）小橋秀樹	12期生	角 場 幸 記
	6期生	引 野 元 裕	13期生	高 野 裕 介
	7期生	池 長 弘 幸	14期生	甲 谷 理 温
	8期生	赤 澤 裕 二	15期生	石 川 哲 也
	九州・山口地域支部	安 井 修 巳		
	総会運営委員長	金 田 俊 章		
	選挙管理委員長	松 浦 潔 行（以上21名）		

※議事録については、略させていただきます。

平成6年度第1回放射線技術科支部総会議事録

日時 平成7年2月26日（日）

午後2時～午後3時30分

場所 川崎医療短期大学200号教室

出席者

1期生 井上博和，金田俊章，北山 彰，
末森慎治，松田英治
2期生 古城 剛，松浦潔行，三村浩朗
3期生 今井章人，小田典子，三村あけみ，

大元浩子

4期生 黒住 晃，小橋秀樹，人見 剛，
富田正二
5期生 川上由美子
6期生 伊石浩子，引野元裕，渡辺由香里
7期生 池長弘幸，難波 隆
8期生 荒尾信一，赤澤裕二
9期生 国府島昌之

10期生 王田順久, 吉田耕治
 11期生 天野貴司, 大角真司, 満田典子
 12期生 角場幸記, 浮田智子, 槇野雅章
 14期生 甲谷理温, 甲谷実穂子, 水上 洋
 15期生 石川哲也 (敬称略)

会費の徴収
 運営委員会及び代表者会の開催
 役員等運営員の充実
 地域支部設立の推進

議事の経過及び結果

総会運営委員 国府島昌之の司会により, 第1回放射線技術科支部総会を開会する。支部長挨拶の後, 一期生 井上博和氏及び三期生 小田(福島)典子氏を議長に選出し, 議事に入った。

平成6年度事業経過報告 (末森)

第1回放射線技術科支部総会の開催及び第1回役員選挙

総会運営委員会, 選挙管理委員会の開催
 会報の発行 (vol. 5, vol. 6)

会員名簿の充実

九州・山口地域支部(倉友会)への助成及び
 平成6年度総会への派遣 (天野)

第13, 15期生同窓会開催に助成金

支部会費の徴収

運営委員会及び代表者会の開催

平成6年度全国放射線技師総会学術大会(佐賀)での同窓会開催

(末森, 黒住, 荒尾, 天野)

平成6年度決算経過報告 (天野)

監査報告 (大元)

以上の報告事項が承認された。

平成7年度事業計画案 (末森)

第2回放射線技術科支部総会の開催

会報の発行 (vol. 7, vol. 8)

放射線技術科支部設立20周年記念事業の開催

会員名簿の充実

同窓会開催への助成

平成7年度予算案 (天野)

平成6年度決算報告

収入の部 科目	決算	備考
前年度繰越金	239176円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	
平成6年度会費	470000円	
第15期生支部会費	44000円	44人×1000円
利息	2422円	
合計	885598円	
支出の部 科目	決算	備考
会誌印刷費	141336円	会誌Vol. 5 印刷費 74716円 会誌Vol. 6 印刷費 66620円
通信費	124540円	会誌Vol. 5 発送費 65430円 会誌Vol. 6 発送費 57520円 切手代 780円
事務費	15528円	代表者会案内発送代 810円 支部会費郵便振替用紙印 5600円
交通費	39520円	封筒代 9270円 テープ代 658円
地域支部助成金(倉友会)	25010円	小倉-岡山(1人) 19760円 岡山-小倉(1人) 19760円 (83人×300円) +110円(手数料)
同窓会開催助成金	8900円	第13期生(45人×100円)4500円 第15期生(44人×100円)4400円
積立金特別会計繰入金	100000円	
合計	454834円	
残高	430764円	

積立金特別会計決算

科目	決算	備考
積立金特別会計繰入金	100000円	
合計	100000円	

平成7年度予算案

収入の部 科目	決算	備考
前年度繰越金	430764円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	
第16期生支部会費	53000円	53人×1000円
平成7年度支部会費	300000円	300人(見込)×1000円
利息	3216円	
合計	916980円	

支出の部 科 目	決算	備 考
総会運営費	60000円	
会誌印刷費	200000円	
通信費	250000円	
事務費	50000円	
交通費	140000円	
同窓会開催助成金	45000円	
倉友会助成金	30000円	会費納入人数(100人見込) ×300円
積立金特別会計繰入金 予備費	100000円 41980円	
合 計	916980円	

積立金特別会計予算案

科 目	決算	備 考
前年度繰越金	100000円	
積立金特別会計繰入金	100000円	
合 計	200000円	(平成7年3月31日現在)

〈質疑〉1期生 北山氏

現在の特別会計積立金のうちわけと、今年度の特別会計積立金は収入の部の前年度繰越金の中に入っているのか。

〈応答〉

残高の中に10万円を組み込んでいる。今年度の収入の部で、前年度繰越金の中に前年度の10万円を含んでいる。

〈質疑〉

特別会計を別枠で取ったほうがわかりやすいのではないか。

〈応答〉

今回承認されれば、別枠でつくっていききたい。

〈質疑〉3期生 今井氏

総会運営費はどういうことに使われるのか、具体的に説明してほしい。

〈応答〉

総会開催に要した経費(資料、筆記用具等)。今後、特別講演依頼等の経費に使用することも考えていきたい。

以上の提案及び報告事項が承認され、議事を終了した。

支部長講演

末森慎治氏

役員選挙報告

選挙管理委員長 松浦潔行

2月26日、川崎医療短大に於いて、初めての放射線科支部総会と選挙がありました。

今回出馬された方々は、支部長に末森慎治氏、監査に富田正二氏、小椋一作氏でした。支部規約では支部長1名、監査役2名を選出する規定となっており今回の場合、立候補者がこれと同数であった為、選挙自体が意味の無いものとなるのではと、大変危惧致しました。選挙管理委員会に於いては、どのような事態になろうとも、会員に対する当支部の姿勢を示す意味に於いて信任投票と言えども選挙を行う事が重要であるとの結論に至りました。総会準備会議の席上でも、選挙管理委員会での意向を了承載き、信任投票を実行する事となりました。

総会当日、総会参加者を対象に午後2時20分で投票を締切りましたが、選挙管理委員を除く有効投票数28票の内、新体制への信任投票数は28票となり、満場一致で信任されました。

今回の反省として、初めての役員選挙と言う事で、支部会員の関心を今一步得られなかった事が挙げられますが、今後の課題としても支部組織に対する、会員各位の参加と結束が必要と痛感しました。選出された役員の方々には、放射線科支部と会員のパイプとして、更に支持の得られる改革された支部運営、活動を期待します。

(支部長立候補者) 末森慎治

(監査立候補者) 富田正二、小椋一作

以上3名の新役員が承認された。

新役員挨拶をもって、総会・役員選挙を終了した。

第1回松丘会放射線技術科支部総会支部長講演

支部長 末 森 慎 治

現在、放射線技術科支部には約800名の会員がおります。実は今回の第1回支部総会では50名位を期待していたのですが、少し数が足りなかったようです。まだまだこれから努力する必要があるなと痛感いたしました。

今回、総会運営委員会から講演の依頼を受けまして、本来ならばもっと著名な先生をお招きし為になるお話を、とは思うのですが、私のつたない話を少しの間お聞き願えればと思います。

最初、同窓会についての話をしようかなと考えていたのですが、ここに来られている方々は、同窓会にたいへん興味をもっていただいていると思います。すでにご存じの事を、お話ししても詰まりませんので、今日はまったく違う話をしたいと思います。

今年、私の子供は中学1年生になりました。まだこれから、高校、大学と進まなければいけないのですが、子育てとしての重要な時期はほぼ終わったかなと考えています。そこで、現在、皆さんの多くの方が直面している子育てについて、私の十数年来の経験からお話しをして皆さんのお役に立ちたいと思います。

子育てについてはいろいろと言われていますが、昔から「三つ子の魂百まで」と言われますように、この三才までの時期が最も重要で、親にとって心配な部分、性格とか運動神経の発達とかがこの時期にほとんど決まってしまうようです。たしかに、子供が親の職業を継ぐと言うことも多く見受けられます。音楽をしている家庭では、音楽家になりやすい音楽にたけてると言うこともありますし、教員畑を歩いてきている親ごさんの子供はけっこう教員になるというふうに親の姿を見ながら子供は成長しているんだなと思います。運動神経の良い子だと言われる子は、その親もけっこう運動神経が良いのだと思います。お父さんに空中に投げられたりして平行感覚が養われたりするのではないのでしょうか。

わが子をどのように育てたいかは人それぞれだと思いますが、親が自分自身の将来に対する展望、目標をもってなければ子供もいい加減な子供になってしまうように私は思います。けっこう子供は親のやっている事を後からついてやっているものです。また子供がしゃべっていることをよく聞いていると親が、どきっとする事もたくさんあると思います。子供はつねに良きにつけ悪きにつけ親の真似をしてきます。親がまず、きちんとした生き方、考え方を持ち、良き道標となる必要があるのではないのでしょうか。また一方で、子供のやった事から親自身も学び、子供と一緒に成長していく心構えが必要ではないのでしょうか。

最近、新聞マスコミ等で子供のいじめについてよく報道されています。私自身、わが子にかぎってそんなことは無い、関係ないだろうと思っていたんですが、よく聞いてみるとわが子がというわけでは無いのですが、周りの子供がいじめられているのを見て見ぬ振りをしなければいけない状況というのはやはりあるようです。こういう事は、たんに子供の世界だけに問題があるのでは無く、社会全体の子供に対する対応の仕方に問題があるのではないのでしょうか。私が子供の頃は近所のおじさんによく怒られまして、怒られた中からいろいろ学ぶ事が多かったのですが、今の大人はそんな事はしませ

んね、わが子だけ一所懸命という人が多いと思います。たとえば、電車の中で子供が靴のまま座席の上で飛び跳ねている光景を見ることがあると思います。それをその子の親も怒らない、周りの大人もただ笑って見ているだけ、ほんとにそれでいいのでしょうか。社会全体の風潮なのかもしれませんが、私はあまり感心しません。

私の子育てのモットーは、『愛して、信じて、待ってやる』ということです。これはどういう事かと言うと、私は、お父さんはおまえが大好きだよ、愛しているんだよ、だから一緒にいろんな事をやってみようという気持ちと、子供がやっている事、たとえば刃物を持って鉛筆を削っている様な時、じっと見守ってやる、信じてやらせてみるという事、また上手にできないからといってすぐに手助けするのでなく、できるまで待ってやるという事です。子育てというのは大変長い期間かかります、時には手を差し伸べて導いていく事も必要だと思いますが、基本的には結果を焦らずに、『愛して、信じて、待ってやる』事が一番大事な事だと思います。

実は私はこの同窓会の仕事についても同じ方針を取っています。自分が卒業した、この川崎医療短期大学放射線技術科をいつまでも愛し、放射線技術科の卒業生を信じて結果を焦らずに、この同窓会が発展していくよう、努力して行きたいと思います。実際、今までも多くの方々にご協力をいただき同窓会としての形も整いつつあり今回、第一回総会を開く所までこぎつけました。関係者の皆さん、会員の皆さんには大変感謝しています。しかしまだまだこれからです。今後も多くの会員の皆さんの努力でこの会が大きく発展していく事を私は信じています。

近い将来、数年後には放射線技術科は、川崎医療短期大学から川崎医療福祉大学へ移行します。川崎医療短期大学放射線技術科というものは事実上、消滅することになります。この同窓会を存続し、発展させていかなくては我々の出身校、母校は世間から忘れ去られてしまう事になります。全国の会員の皆さんのご理解とご協力をお願いします。また、特に岡山県に残っている方々、頑張ってくださいと思います。出来るだけの事を共に努力していきましょう。

あまり人前でしゃべるのは得意ではないので、どれだけ伝わったかは疑問ですが、何か一つでも皆さんの心に残る事があれば幸いです。こうしてしゃべる機会を与えていただいた総会運営委員会の方々にご心より感謝しております。たいへん短い間でしたがこれで支部長講演を終わりたいと思います。有難うございました。

トピックス

放射線技術科支部

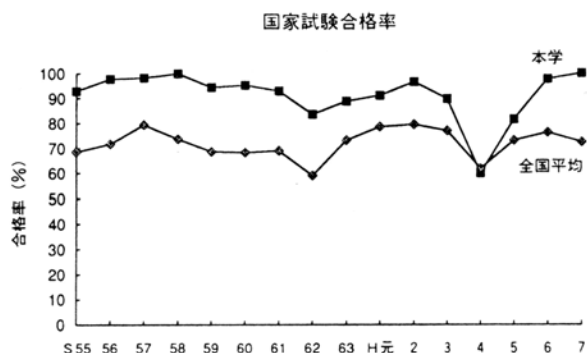
副支部長 荒尾 信 一（8期生）

〔国家試験〕

平成7年3月6日に実施された診療放射線技師試験の合格者発表が、4月14日に行われた。全国受験者数2,109名、全合格者数1,528名で全国合格率は72.5%であった。本学からの受験生

（16期生）は54名で合格者も54名で合格率100%であった。合格率が100%となったのは、昭和58年（4期生受験）以来で、なんと12年ぶりのことであり、今後、この成績が続くよう後輩諸君のなお一層の健闘と卒業生のご支援、ご

協力を期待したい。



〔卒業〕

平成7年3月、放射線技術科第16期生が卒業し、本学科の卒業生数（同窓会放射線技術科支部会員数）は833名となった。また、平成8年3月卒業予定者は58名で出身県の内訳は以下のとおりである。

出身県	男	女	出身県	男	女
岡山県	2	14	福岡県	5	4
広島県	3	4	佐賀県	1	0
山口県	2	3	長崎県	2	0
島根県	1	0	大分県	1	1
香川県	0	2	宮崎県	1	0
高知県	0	1	鹿児島県	2	0
愛媛県	1	2	沖縄県	1	0
兵庫県	0	1	静岡県	1	1
大阪府	0	1	新潟県	0	1

〔新入生〕

平成7年度の新入生で、放射線技術科は第19期生を迎えた。入学人数は54人で男子19人、女子35人と圧倒的に女性の数が増加している。本年度は志願者数が448名（推薦および一般入試総数）と多く、定員に対して約9倍の競争率となり、過去最高であった。

〔訃報〕

第8期生の田中順君が急性心不全のため去る平成7年2月13日死去されました。放射線技術科同窓会会員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

第8期生代表者 赤澤 裕二

住所不明者リスト

- 第2期生 芦原裕美（難波）
- 第3期生 長島豪則 花木 昭
- 第4期生 大迫みち代 山下卓士 梶川真弓
- 第5期生 中島幸知美（渡邊）
- 第6期生 西山紀子 日高 徹 村田佳代
山口裕之
- 第9期生 三上雅也 橋本政宏
- 第10期生 佐藤研一 那波哲也 福満誠一
- 第11期生 立花寿子 西村伸二

平成7年5月23日現在

松丘会放射線技術科支部役員一覧

支部長	末森 慎治	第1期松丘会支部長	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
副支部長	荒尾 信一	第8期松丘会理事	川崎医療短期大学	086-462-1111
	*松浦 繁行	第2期	児島中央病院	086-472-1611
代表者	*井上 博和	第1期	玉島協同病院	086-522-6111
	三村 浩朗	第2期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	今井 章人	第3期代議員	岡山済生会病院	086-252-2211
	人見 剛	第4期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111

	山本 浩之	第 5 期代議員	倉敷中央病院	086-422-0210
	引野 元裕	第 6 期代議員	松田病院	086-422-3550
	池長 弘幸	第 7 期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	赤澤 裕二	第 8 期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	川崎 晋禎	第 9 期代議員	岡山旭東病院	086-276-3231
	吉田 耕治	第10期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	*草野 武郎	第11期代議員	松田病院	086-422-3550
	角場 幸記	第12期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	高野 裕介	第13期	重井医学研究所附属病院	086-282-5311
	甲谷 理温	第14期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	石川 哲也	第15期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	*内田 敏敦	第16期	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
九州・山口 地域支部長	小川 正人	第 1 期	産業医科大学	093-603-1611
運営委員長	黒住 晃	第 4 期	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
運営委員	水上 洋	第14期	岡山市立市民病院	086-225-3171
会計	天野 貴司	第11期松丘会理事	川崎医療短期大学	086-462-1111
	*坂 麻由香	第16期	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
監査	*富田 正二	第 4 期	国立呉病院	0823-22-3111
	*小椋 一作	第 8 期	坂出市民病院	0877-46-5131

*平成 7 年度 新役員